

4月レポート

2020年卒業生 前川愛実

私は3月24日にオーストラリアに到着し、那賀高校の姉妹校であるクリスチャンカレッジで日本語アシスタントとして働き始めました。到着してからすぐにイースターホリデーがあったため、3月は4日間のみ学校に行きました。この4日間はアシスタントとして必要なものを整える期間だったため、あまり多くの日本語の授業にはアシスタントとして入ってはいませんが、初めてクラスに入ったときには、生徒の日本語力の高さにはとても驚きました。

さて、4月に入り本格的にアシスタントとしての仕事が始まりました。仕事内容としては、小学生から高校生までの日本語クラスに入り生徒の発音、読み書きの補助に入ったり、単語テストの作成や教材印刷、採点など先生の仕事の手伝いを行います。小学生クラスでは、日本語を学ぶというよりはビンゴゲームなどの活動によって日本語に楽しく触れてもらうことをメインに授業を行っています。生徒たちはゲーム活動を通して気づかぬうちに日本語を使用しており私も楽しく生徒をアシストすることができます。一方で高校生のクラスでは本格的に文法練習に入っており、かなり難しいレベルを授業で行っています。私は、大学で日本語養成課程を履修していたため、高校生たちが学んでいる項目や文法用語などについては見覚えがあります。しかし、日本人が今まで意識したことのない助詞や文法について教わっているのを見ると、日本語はとても難しい言語だと今までとは違う視点から自分の母語を見ることができて面白いです。

まだ、アシスタントとしての仕事は始まったばかりですが様々な学年、様々な先生の日本語授業への参加を通して授業スタイルの違いや活動の違いから学びの毎日です。このアシスタントの仕事はとても貴重な機会であるため、大切に学び続けたいと思います。

